

平成19年度実施事業 事業評価シート

事業名:	地域包括支援センター運営協議会事務	2-42
・運営の方法(1:直営、2:民間委託、3:補助、4:その他)	複数回答可	1
・事務の分類(1:自治事務、2:法定受託事務)		1

担当部課	保健福祉部高齢者支援課	直通電話	72-6121
担当部長	鎌田 英暢	担当課長	沢田 茂明
		担当者	村上 弘晃

1 事業のアウトライン			
(1)事業概要及び交付金額等の積算根拠	地域包括支援センターの適切、公平かつ中立な運営を確保するため、介護保険法の規定に基づき地域包括支援センター運営協議会を開催する。		
(2)事業開始年度	平成17年度	(3)事業終了年度	永続
(4)総合計画での事業体系	テーマ等	2 健康でしあわせに暮らすまち	
	施策項目(大)	(2)高齢者福祉の充実	
	施策項目(小)	その他	
	施策コード	20204	

2 事業の内容	
(1)事業の目的 何のために	地域包括支援センターの適切、公平かつ中立な運営を確保するため。
(2)目指す成果 何をどんな状態にする(何がどんな状態になる)ように	地域包括支援センターが適切に運営され、適切な高齢者の相談業務及び介護サービスを受けることができるようにする。
(3)事業の方法 どんな手段を講じるのか	委員10名による地域包括支援センター運営協議会を定期的で開催することにより、公正かつ中立な地域包括支援センターの運営を実現するものである。
(4)19年度に改善した事項、重点的に取り組んだ事項	
(5)事業の背景・社会状況・他の類似事業など	介護保険法に基づき全国で同様の事務が行われている。
(6)事業の立案や実施における協働の視点	市民の方が運営協議会に参加している。

3 事業に投入した行政資源				
区分	H17	H18	H19	H20予算
(1)直接事業費(千円)	59	58	30	80
(2)その他の間接経費(千円)				
(3)従事正職員の人件費(千円)	1,726	1,657	1,794	
総事業費((1)~(3)の合計:千円)	1,785	1,715	1,824	
事務に従事した正職員延べ人数	0.20	0.20	0.20	

4 交付団体の予算・決算 (単位:千円・%)										
区分	H17	H18	H19	H20予算	区分	H17	H18	H19	H20予算	
市補助金等(A)										
計(B)	0	0	0	0	計	0	0	0	0	
(A/B)										

5 事業活動の結果 (単位:千円・%)					
活動指標名		H17	H18	H19	H20
地域包括支援センター運営協議会開催回数	目標値	2	4	2	2
	実績値	2	2	2	
	達成率	100.0	50.0	100.0	
	目標値				
	実績値				
	達成率				
	目標値				
	実績値				
	達成率				

6 事業の成果		(単位:千円・%)			
成果指標名		H17	H18	H19	H20
花川北地域包括支援センターの相談件数	目標値		未設定	未設定	未設定
	実績値		1,536	1,594	
	達成率		-	-	
地域包括支援センターホットライン21の相談件数	目標値		未設定	未設定	未設定
	実績値		86	245	
	達成率		-	-	
厚田・浜益地域包括支援センターの相談件数	目標値		未設定	未設定	未設定
	実績値		386	571	
	達成率		-	-	

7 事業の観点別評価		担当課長が評価します。	
(1) 必要性		(4) 有効性	
ア 市民ニーズ 社会経済情勢の変化に対する市民ニーズはどうか	1 大きい 2 普通 3 小さい	2	ア 施策との関連 事業の成果と施策の成果とに関連があるか
イ 市の関与 その事業に市が関与する必要があるかどうか	1 行政にしかできない 2 民間等でもできる 3 民間等でやるべき	1	イ 成果 事業の成果は目標を達成しているか
(2) 効率性		ウ 事業内容 目指す成果の実現を図る上で、今の事業内容は適当か	
ア コスト削減 コスト削減は可能か	1 不可能である 2 難しい 3 可能である	2	1 密接な関連がある 2 関連がある 3 関連はほとんどない
(3) 公平性		(1)~(4)の評価ポイント合計	
ア 受益者負担 さらなる受益者負担は可能か	1 不可能である 2 難しい 3 可能である	2	総合評価の参考にしてください。
		7~11 A or B	
		12~15 B or C	
		16~21 D or E	
		13	

8 課長評価		担当課長が評価します。	
(1) 平成19年度事業の総合評価		運営協議会の開催により地域包括支援センターが適切に運営されている。	
B	評点の意味 (A:極めて良好、B:良好、C:可も不可もない、D:問題がある、E:大きな問題がある)		
(2) 今後の方向性・課題		地域包括支援センターの適正な運営のため今後とも継続する。	
(3) 平成21年度の方向性			
*:担当課長	事業内容		
	現状維持	一部見直し	大幅見直し
事業規模	拡大方向		
	現状維持	*	
	縮小方向		
	統合		
	休・廃止		

ここまで担当課長が記載した上で、パブリックコメントを実施し、市民意見を募集します。

9 課長評価に対する市民意見	

10 部長(市長)評価		課長評価に対する市民意見を踏まえて、部長職(もしくは市長)が評価します。	
(1) 平成19年度事業の総合評価		市内4箇所の地域包括支援センターの運営に関する協議を通して公平かつ中立的なセンター運営を確保している。	
B	評点の意味 (A:極めて良好、B:良好、C:可も不可もない、D:問題がある、E:大きな問題がある)		
(2) 今後の方向性・課題		今後も、センターの公平かつ中立的な運営を図っていく。	
(3) 平成21年度の方向性			
:担当部長(もしくは市長)	事業内容		
	現状維持	一部見直し	大幅見直し
事業規模	拡大方向		
	現状維持		
	縮小方向		
	統合		
	休・廃止		